

活動の様子



↑ 平和記念資料館を見学



↑ 折り鶴を捧げる



↑ 平和記念公園を見学



↑ 新聞を作成



↑ 5年生に読んでもらう



↑ 保護者に発表する

児童のふり返りと感想

- ・ 平和学習を始める前は、戦争は自分たちには関係のないことだと思っていました。しかし、学習を進めていく中で、戦争の悲惨さや原爆の被害について学び、平和はみんなで作っていくものだと考えるようになりました。また、平和であれば、みんなが笑える世界にできるということが学べました。
- ・ はじめ、本当に戦争はあるのかと思っていました。修学旅行や平和学習で戦争の悲惨さを知り、今でも戦争に苦しんでいる地獄のような国があることも知りました。世界から核兵器や戦争がなくなってほしいと思いました。
- ・ 戦争は大勢の関係のない人まで巻き込んでしまうので、二度とやってはいけないものと思った。平和は、色々な国同士が戦争せず、助け合って協力して生きていく戦争のない世界のことだと思った。
- ・ 平和学習をする前は、戦争や平和に対して思うことや考えることは全くありませんでした。しかし、平和記念資料館の実物や写真を見て、戦争はやってはいけない怖いものだと感じました。また、平和は、とても大切でずっと続いてほしいと感じました。これからは、世界のどこも戦争をしてほしくないです。
- ・ 私は、どうして戦争が起きるのかわかりませんでした。平和学習を進める中で、色々な悲しい思いが詰まった物を見ました。食べ物や土地、考え方の違いで争いが起きるのであれば、みんなが平等で協力し合える世界になれば平和になると思います。

- 戦争は恐ろしくて、大切な人や関係のない人を巻き込んで、勝ち負けに関わらずお互いが傷つくだけの争いだと思った。原爆をはじめ、戦争の恐ろしい面を知って、ショックを受けました。平和とは何気ないいつもの日常だと思いました。私たちができることって何だろうと考えるようになりました。
- 戦争は、ただなんとなくダメな事くらいに思っていました。平和学習をして、語り部さんの話を聞き、資料館の実物を見て、衝撃を受けました。本当に悲惨だと思ったし、絶対にあってはいけないことだと思いました。
- はじめは、何も考えずに、怖いだらうなと思っていました。資料館で、焼け焦げた実物など痛々しい現実を見て、戦争は絶対にしてはいけないものだと改めて実感しました。平和な今の日本に生まれて、私は良かったと思いました。
- 戦争は2度と起こさないと約束してほしいです。戦争に勝ったとしても、亡くなった人がたくさんいるので、喜べることではないと思います。平和な毎日を奪われたくないと思いました。
- 難しそうな内容だったので、学習が進められるか不安でした。修学旅行で、実際に被爆した人の写真や衣服などを見て、ショックを受けました。もっと調べて、勉強して、みんなに伝えていかなければいけないと思いました。
- 資料館で実物を見られたことは、いい体験になったと思います。また、戦争は、悲惨で、悲しく、辛く、怖いものだと改めて思いました。今、戦争や紛争があるところはやめてほしいと思いました。生きたくても生きられない人がいるので、命を大切にしようと思いました。